

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 1 月 8 日作成)

小委員会名	音環境規準検討小委員会		主 査 名：平光厚雄 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)		委員長名：持田 灯 主 査 名：羽入敏樹
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・音環境に関する AIJES 作成・改定の全体マネージメントを行う。</p> <p>初年度：「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」に関する課題検討、AIJES「学校施設の音環境保全規準・設計指針」の改定、AIJES「スピーチプライバシーの評価と設計指針ー音声情報漏洩防止」の策定作業のフォロー</p> <p>2～4 年度：作成・改定すべき対象・スケジュール・体制の検討・決定、企画刊行運営委員会移行後・解散後のフォロー、その他音環境規準の作成・実施</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し		
	主査：平光厚雄 (国総研) 幹事：池上雅之 (大林組)、田中 学 (日総試) 委員：青木亜美 (日建設)、井上勝夫 (日本大学)、岡野利行 (竹中工務店)、古賀貴士 (鹿島建設)、佐久間哲哉 (東京大学)、佐藤 洋 (産総研)、清水 寧 (Sound/Form Design Lab)、田端 淳 (大成建設)、濱田幸雄 (日本大学)、平松友孝 (音・環境研究所)、宮島 徹 (清水建設)、吉村純一 (小林理研)		
設置 WG (WG 名：目的)	無し		
2020 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. (名称) 参加者数 名 (資料名)
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 大会において、OS「音環境性能の基準・規準に関する最近の動向」を企画し、5 件の投稿があった。(発表扱い) 2. 「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」の AIJES 化にむけて解決すべき課題について、担当する小委員会が検討した結果について議論を行なった。 3. フォローを行っていた、AIJES「スピーチプライバシーの評価規準・設計指針ー音声情報漏洩防止ー」および AIJES「学校施設の音環境保全規準・設計指針」が刊行された。
委員会活動の問題点・課題	1. コロナ禍における、小委員会の効率的なリモート開催の方法の検討。

2020 年度 小委員会活動 自己評価

(**中間年度評価**・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A B C D
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会において、OS「音環境性能の基準・規準に関する最近の動向」を企画し、5件の投稿があった。(発表扱い) ・ 「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」の AIJES 化にむけて解決すべき課題について、担当する小委員会が検討した結果について議論を行なった。 ・ フォローを行っていた、AIJES「スピーチプライバシーの評価規準・設計指針ー音声情報漏洩防止ー」および AIJES「学校施設の音環境保全規準・設計指針」が刊行された。 ・ 新型コロナウイルスの影響により進捗が多少遅れ、開催回数が3回(予定)と当初の計画より少なくなった。

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価(シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など)に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。